

特定非営利活動法人 障害者活動支援団体げんきむら

平成28年度 事業報告書

1 事業の成果

① 総論

ケース検討会を重ねる中で、若手の利用者には、げんきむらでの活動だけで満足することなく、一般就労の現場へ向かってもらいたいといふかねてからの方針を具体化するため、就労移行支援の実施を準備することになりました。年度の後半には、新事業への期待で、すぐに就労移行へ移籍して就活したい人も、様子を見て2番手でやってみようと思っている人も、張り合いのある生活になってきたように見えます。

② 生産活動の充実

プリントの仕事は相変わらず顧客数や受注量は増えており、業務の重なる際にはTシャツのプリントも外注で対応することもありました。

縫製部の刺繍部門が、技術をより磨き、ほぼ顧客の望むデザインどおりに刺繍できるようになりました。海野光弘さんデザインの虫シリーズのタオルも発売の準備が整いました。

アートスタジオは、受注する製品の版下作り以外にも公募のデザイン仕事にも挑戦を重ねています。世に認められて花開く日が来るものと期待しています。

カフェは、売上こそ横ばいですが、打合せに使ってくださる常連客が増え、臨時休業や早じまいを残念がってくれる人も多く、地域に認められた居心地の良い店になってきている感があります。市役所ロビーショップは、販売面積削減という悪条件の中でも売上を伸ばしています。今後、カフェは就労を目指す人々のベース基地という機能も持つようになるので、地域に温かく見守られながら幸せな門出をできるようにしていきたいものです。

③ 支援体制の拡充

2号館の職員体制が落ち着き、就職活動を続けていたKさんが、介護の事業所の厨房担当者として就職を果たしました。2号館には常勤専門職がない弱点がありましたが、年度の終わりに若手のサービス管理責任者を迎えることができ、たくさん不安材料の解決の糸口を得ることができました。

職員研修の機会を多く持つことで、多角的に利用者を捉え、また職員自身も生きがいを持って仕事に励めるよう勤めてきました。今年度の主任制度発足にむけて、個々の職員の努力を処遇に反映させるための下準備をしました。

④ 地域に根ざした利用者活動

利用者の自主活動がさらに充実し、スポーツ行事・レク行事だけでなく、工場や事業所の見学会を催し、講演会へ参加し、また、藤枝市精神保健福祉ネットワーク会議の公開セミナーにも発表者を送ることができました。

開催2回目になるカフェを会場とした村祭りは、利用者・スタッフが総出で準備し、青島北地区交流センターが休館であったにもかかわらず、200余名の一般客の来場を得ました。地域に活気が出るのお褒めの言葉もいただきました。

⑤ 防災・防犯対策および機器整備と活用

利用者防災部の推進力に推されて、折りたたみヘルメットの設置や着用訓練等の整備が進みました。

家族会の協力で、家族の災害用伝言ダイヤルの使用練習も行えました。地域の災害ボランティアに手伝っていただく避難訓練も今までより、前向きにできていると評価をいただきました。

県・市の補助で2号館に防犯カメラとセンサーライトを設置できました。

アートスタジオのデスクトップパソコン2台を新調。

本年度の本格運用に向けて、支援計画・記録・請求の総合ソフトの導入を行いました。

⑥ 利用者専門部活動報告

【防災・環境整備部】

防災用折りたたみヘルメットやトイレ貯水用タンク・雨水を溜めるタンクも設置。2号館へはしごの設置。のぼり工房中二階の掃除をして、備蓄食糧を買い足し卓上コンロを設置しました。避難訓練を11月に実施。2号館の家具の固定も行いました。トイレの貯水タンクの水の交換と車イスの空気点検を定期的に行い、利用者全員に折りたたみヘルメットの着脱練習と、3日分の薬の携行をしてもらいました。

【広報部】

げんきむらだよりの発行・カフェのメニューやのぼりの作成など例年のものに加え、フェイスブックを通じてのげんきむらPR動画の作成・公開等新しいことにチャレンジしました。

村祭りではげんきむらだよりに同封する形でドリンク無料券のついたチラシを配布しました。

【体育部】

いつものように「無理をせず身体を動かそう」が目標でした。ソフトバレーボールは悲願の初戦突破にあと一歩でした。ボウリングは3人がメダルをもらいました。ふれあいスポーツ大会は、志太榛原地区が優勝しました。その他、ふじえだマラソンに4人応募して2人完走しました。今年も大勢の人が参加してほしいです。

【レクリエーション部】

研修旅行で小田原の生命の星地球博物館とかまぼこ博物館へ行く事が出来ました。
忘年会を15人ほどの参加者で楽しく行うことが出来ました。

【製品開発部】

細長い布の袋を作り、コーヒーの粉を使った消臭剤を作って、下駄箱でテストを行っています。
新メニューとしてドリア・付け合せの厚切りポテトフライ・チョコワッフルを開発しました。メニューは技術とマッチングしたものにし、味の安定化を図ることなどを話し合いました。

アートスタジオがタグのデザインを募集し検討をしました。塗り絵の製品化も考えました。

縫製部は、自主製品の種類を増やし制作販売しました。

【自立支援部】

管理栄養士の村人を講師に栄養学講座を開きました。簡単なレシピも紹介しました。いろいろなお菓子のカロリー表も作って見ました。皆さん食生活の大切さを知っていただけたと思います。

次に「睡眠の法則で毎日が充実」という講演会を聞きに行きました。普段私たちが何気なくやっていることが実は間違っているということが、たくさんあって驚きました。とても有意義な講演会でした。

次はカヨウコーポレーションとひよこ保育園の見学会に行きました。障害のある方も同じように働いていて見学に行ったメンバーの励みになりました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害福祉サービスを行う事業	げんきむらプリント工房において就労継続B型支援事業を行う。	4月1日～ 3月31日	げんきむらプリント工房	13人	利用者 34人	667,628
障害者の社会活動の支援事業	職場見学会、一般企業への就労支援と就労後の相談支援・職場との関係調整、離職者の再就職支援	4月1日～ 3月31日	ハローワーク・障害者職業センター・企業など	5人	就労者・ 就労希望者 14人	58
	市民との協働を推進し、障害者の自立を促進する事業	避難訓練 11月1日	げんきむらプリント工房	45人	利用者・ボランティア45人	5
		げんきむらだより発行 8月15日 3月1日	げんきむらアートスタジオ・げんきむら本部	18人	一般市民 多数	90
	見学会・研修会・スポーツ大会参加・交流行事・実行委員会等参加 4月1日～ 3月31日	静岡市中央体育館・バスケット・ヤングランドボウル・草薙体育館・生命の星地球博物館・かまぼこ博物館・カヨウコーポレーション・ひよこ保育園・藤の瀬会館・藤枝市役所会議室・生涯学習センター他	16人	利用者 28人 一般市民 多数	139	
村祭り2017 3月19日	カフェげんきむら	45人	一般市民 約230人	30		